

株式会社グローバル・システム・クリエイト
代表取締役社長

田中 寛利氏
Tanaka Hirotooshi

あるべき姿を求めて

PROFILE

- 1956年 嘉穂郡桂川町生まれ
- 1974年 福岡県立嘉穂高等学校卒業
- 1979年 東京理科大学理学部応用数学科卒業
IT企業入社
- 1991年 株式会社グローバル・システム・クリエイト設立
代表取締役社長就任
- 2006年 東京福岡県人会入会
- 2019年 東京福岡県人会理事就任
- 2022年 嘉中・嘉穂高等学校関東同窓会会長就任



生まれ故郷と幼少期

生まれ育ったのは嘉穂郡桂川町。桂川駅のすぐ近くです。父方の祖父は飯塚出身ですが、職業軍人で勤務地が関東だったので父は関東生まれ、疎開で飯塚に戻ってきて母と知り合い結婚しました。どちらも地方公務員です。

母方の祖父は大工で、私が小学校に上がる前に家を造ってくれました。毎日現場で大工さんの作業を見ているのがとても楽しかったのを覚えてます。祖父が造った実家はまだ残っています。福北ゆたか線を通る時に懐かしく確認しています。三人兄弟の長男で五歳下の妹と更に五歳下の弟がいます。

小学・中学・高校時代、そして浪人

桂川小学校から桂川中学校、そして嘉穂高校に進みました。とにかく高校を卒業するまではほとんど勉強はしていません。部活もせず、塾にも一度も行ったことがなく、友達と遊んでばかりでしたね。

ただ、数学とか理系の科目が得意でしたので、中学二年生の時にテレビのアニメの中で大きな磁気テープが回っているコンピューターを見て、コンピューターの仕事かしたいと思いました。そのためには、東京に出ないと道は開けないとも思いました。

浪人中に福岡市内の水城学園で半年間しっかり勉強し、希望の東京理科大

理学部応用数学科に合格しました。

大学時代

入学後、最初は苦労しました。東京の高校生はプログラミングの基礎を既に学んでいるので、知識がありすらすらできる。格差に愕然としました。

大学では「旅行をする同好会」に所属。三年生の時に部長になりました。旅行など遊びのことを考えるのが大好きです。部員は百二十人。大学の同好会だから目的みたいなことを考え、それぞれグループに分かれて色々な場所に行き、最終日には一か所に集合して各グループが発表を行いました。奥さんとはそこで出会いました。

大学では、ちゃんと勉強して四年で卒業しました。一年と三年は留年が多いので頑張りましたね。

就職そして退社、会社設立

卒業後はコンピューターエンジニアとして大手IT企業に就職。そこでエンジニアとして十一年間働きました。次長になっていましたから出世は早いほうだと思います。

一九九一年、その会社を退社し、株式会社グローバル・システム・クリエイトを設立しました。会社からは引き留められましたが、大手のコンピューター会社からの誘いもあり、大いに迷いましたが、自分の信じる道を進もう

と思いました。

辞めた理由は、一九八〇年代、汎用機と呼ばれる大型コンピュータを導入していると周辺機器やシステムはすべてそのコンピュータ会社の系統になる。それはおかしいと思いました。オープン化の時代が始まろうとしている。異なるメーカーや提供元製品を組み合わせて構成する「マルチベンダー」の可能性を信じ、他社に先駆けてマルチベンダーによるシステム開発に乗り出そうと思いました。

会社設立後

元の会社の部下が四人付いて来てくれました。従来の仕事を給与が払える程度続けながら、マルチベンダーの理念をしっかりと固めないといけないと思えばらく考え続けました。

またこの時期、経営哲学についても考えました。安岡正篤、福原義春、中村天風、カーネギーなどの本もひたすら読みました。考えることが大好きです。考えるのはお金がかかりませんが。

最初にマルチベンダーのシステム構築を行ったのは、一九九七年。以前からお付き合いのあった大手食品卸会社さんです。それから、順調に顧客を増やしていくことができました。

そういえば、その食品卸会社さんの担当部長の方とお話ししていると何だ

か共通の部分があり、お聞きすると何と嘉穂高校の先輩でした。先輩は、父親の転勤で一年生終了後に浦和高校に転校したのですが、嘉穂のことが好きだということでした。

福岡オフィスのことなど

二〇一五年に福岡市に営業所を開設しました。介護や子育てなどの諸事情で、自宅近くで働く必要のある地方の優秀なエンジニアのためです。仕事はリモートで行いますので、問題はありませんが。首都圏の仕事を地元に行ってももらいます。首都圏と地方との格差は正にもなりますし、地方の活性化にもつながります。

その考え方から十八年には、長崎県大村市に、十九年には飯塚市にサテライトオフィスを開設しました。大村市のオフィスは大村湾を見下ろす絶景の地に建っていて即決。大村市から長崎市への通勤は諫早市を迂回するため時間が掛かります。自宅近くで働けるということに優秀なエンジニアがすぐ見つかりました。今後は更に多くの地方に開設したいと思っています。

飯塚市では、大学がいくつかあるので市役所の産学官連携担当の方々と話し合う機会が増えました。情熱を持っている若い人が多く楽しみです。

実は昨年十二月、東京商工リサーチ社発行、関東の上位七・八%の優良

企業だけが掲載される情報誌「ALIVE! 2024 関東版」の「優良企業ガイド」に当社が掲載されました。

ご趣味は？

ゴルフが趣味です。日曜日はほとんどゴルフです。三十代でシングルプレーヤーになりました。所属しているゴルフ倶楽部の異業種の経営者の方やお医者さんなど、さまざまな分野の方々とお話をするのは楽しいですし、勉強になります。

嘉穂高校同窓会について

千葉に住んでいる嘉穂高校卒の叔母から「あなた、同窓会にでらんと？」と言われたのが同窓会に出席することになったきっかけです。

大学時代は、高校時代の親しい仲間が誰もないと思っていました。同窓会に参加してみると同期の大久保などがいて、懐かしく楽しくて。それから関東同窓会総会・懇親会の幹事を担当。その後、当時の故原信義会長（元東京福岡県人会副会長）や赤間事務局長から同窓会を手伝って欲しいと頼まれて、お手伝いするようになりました。嘉穂の文化が大好きです。先輩や同期、後輩たちと一緒に色んなイベントなどを考えるのはとても楽しいです。

県人会について

故原信義会長から勧められて二〇〇六年に県人会に入会しました。十年の筑豊地区担当総会・懇親会から十四年、十八年と続けて、実行委員会のお手伝いをしています。



2018年実行委員会打ち上げ(竹茂六本本店にて)

今年は、十月二十六日（木）、明治記念館で開催される総会・懇親会の実行委員長として、三年ぶりのリアル開催を皆さまに楽しんでいただけるよう筑豊地区のメンバーと会議を重ねています。ぜひ、お誘いあわせの上ご出席ください。

インタビュー 福山 祐子

(会報編集委員会担当副会長)